【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成24年12月6日(2012.12.6)

【公表番号】特表2012-506858(P2012-506858A)
【公表日】平成24年3月22日(2012.3.22)
【年通号数】公開・登録公報2012-012
【出願番号】特願2011-533288(P2011-533288)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　39/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/39　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/04　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/02　　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/09　　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　14/195　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　39/00　　ＺＮＡＨ
Ａ６１Ｋ　39/39
Ａ６１Ｐ　31/04
Ａ６１Ｐ　31/04　　１７１
Ａ６１Ｋ　39/02
Ｃ１２Ｎ　15/00　　Ａ
Ｃ０７Ｋ　14/195

【手続補正書】
【提出日】平成24年10月19日(2012.10.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
配列番号９に少なくとも９０％同一であるアミノ酸配列を含むポリペプチドを含む、免疫原性組成物。
【請求項２】
配列番号１３に少なくとも９０％同一であるアミノ酸配列を含む第二のポリペプチドをさらに含む、請求項１に記載の免疫原性組成物。
【請求項３】
配列番号９に少なくとも９０％同一であるアミノ酸配列を含むポリペプチドをコードするポリヌクレオチドを含む、免疫原性組成物。
【請求項４】
前記ポリヌクレオチドが、配列番号３４に少なくとも９０％同一であるヌクレオチド配列を含む、請求項３に記載の免疫原性組成物。
【請求項５】
配列番号１３に少なくとも９０％同一であるアミノ酸配列を含むポリペプチドをコードする第二のポリヌクレオチドをさらに含む、請求項３または４に記載の免疫原性組成物。
【請求項６】
前記第二のポリヌクレオチドが、配列番号３８に少なくとも９０％同一であるヌクレオチド配列を含む、請求項５に記載の免疫原性組成物。

【請求項７】
前記ポリヌクレオチドは、組換えウイルスベクターまたは細菌ベクターから構成される、請求項３または４に記載の免疫原性組成物。
【請求項８】
前記ポリヌクレオチドおよび前記第二のポリヌクレオチドの双方が、組換えウイルスベクターまたは細菌ベクターから構成される、請求項５または６に記載の免疫原性組成物。
【請求項９】
アジュバントをさらに含む、請求項１、２、３、４、５、６、７、または８に記載の免疫原性組成物であって、該アジュバントは、水酸化アルミニウム、リン酸アルミニウム、油、水および水酸化アルミニウム、ＱｕｉｌＡ、ＱｕｉｌＡプラスコレステロール、ならびに免疫刺激複合体（ＩＳＣＯＭ）からなる群から選択される、免疫原性組成物。
【請求項１０】
請求項１、２、３、４、５、６、７、８、または９に記載の免疫原性組成物を含む、ワクチン。
【請求項１１】
Ｍｙｃｏｐｌａｓｍａ Ｈｙｏｐｎｅｕｍｏｎｉａｅ、Ｅｒｙｓｉｐｅｌａｓ ｓｐｐ、ｓａｌｍｏｎｅｌｌａ、Ｈ．ｐａｒａｓｕｉｓ、ｃｌｏｓｔｒｉｄｉｕｍ ｓｐｐ、ｓｔｒｅｐｔｏｃｃｏｕｓ ｓｕｉｓ、ｂｒａｃｈｙｓｐｉｒａ ｓｐｐ、ｂｏｒｄｅｔｅｌｌａ、ｐａｓｔｅｕｒｅｌｌａ、Ｅ．ｃｏｌｉ、コロナウイルス、パルボウイルス、ＰＲＲＳ、サーコウイルス、またはＳＩＶのうちの１つまたは複数の抗原性成分をさらに含む、請求項１０に記載のワクチン。
【請求項１２】
動物において、Ｌａｗｓｏｎｉａ ｉｎｔｒａｃｅｌｌｕｌａｒｉｓに対する保護的免疫反応を誘導するための、請求項１０に記載のワクチン。
【請求項１３】
動物から得られた生物学的サンプルにおける、Ｌａｗｓｏｎｉａに反応性の抗体の特異的検出のための方法であって、
ａ）配列番号９または１３で示される配列、またはその免疫原性断片を有するＬａｗｓｏｎｉａ抗原と、該生物学的サンプルを接触させる工程、
ｂ）該生物学的サンプル中の該Ｌａｗｓｏｎｉａ抗原と抗体との間の抗原－抗体結合を検出する工程であって、該抗原－抗体結合の検出は、該生物学的サンプルにおけるＬａｗｓｏｎｉａに反応性の抗体の存在を示す、工程
を包含する、方法。